

## 第3回 5-D ALPS (Aichi Leading Perio and implant Study)

### 特別講演会のお知らせ



貴島 佐和子先生



北島 一先生

2015年8月、5-D Japanの5番目の official study として発足しましたALPSも9月で3年目を迎えます。通常は2か月に1度の勉強会を開催しておりますが、9月の勉強会は講師の先生をお招きしての講演会となります。今年は5-D Japan DH コースの主任衛生士の貴島佐和子先生と5-D Japan ファウンダーの北島一先生をお招きして、特別講演会を開催いたします。

歯科医療は、我々歯科医師や衛生士、歯科助手そして歯科技工士がそれぞれプロとしての役割を果たすことにより1つの仕事を成し遂げることが出来ます。今回の講演会に是非参加して頂き、明日からの臨床に生かして頂けたら幸いです。歯科医師はもちろん、衛生士や歯科助手の方々にも多数ご参加頂けますようお願い致します。

5-D ALPS 代表 藍 浩之

日時 2017年9月10日(日曜日) 10:00~16:45

場所 東海市芸術劇場 多目的ホール <https://www.tokai-arts.jp/>

愛知県東海市大田町下浜田137番地(ユウナル東海内)

電話 0562-38-7030

#### 公共交通機関の場合

中部国際空港から名鉄太田川まで25分

名鉄名古屋駅から中部国際空港・河和・内海方面の「特急」で約15分、太田川南口と直結。

劇場地下駐車場(24時間対応、上限2000円)

## プログラム

9:30 開場

10:00~10:15 ALPS 代表 藍 浩之 挨拶

10:15~12:30 貴島 佐和子先生による講演、質疑応答

12:30~13:30 昼食 (近隣にて各自)

13:30~16:45 北島 一先生による講演、質疑応答

17:00~19:00 懇親会 (近隣にて)

**参加費** 歯科医師 5,000 円 、 衛生士・歯科助手・技工士 3,000 円

懇親会は近隣で行う予定です(1人5,000円程度) 是非ご参加ください。

講演会参加申し込みは Fax にて あい歯科までお願い致します。ご参加者各氏名と歯科医師・歯科衛生士・歯科助手・歯科技工士を明記し、合計金額をご記入の上 あい歯科 まで Fax にてお申込み下さい。

お振込みを確認させていただきお申し込みは完了となります。

**Fax 0562-39-2523 あい歯科**

お振込み口座 大垣共立銀行 東海支店 普通 197136 藍 浩之 (アイ ヒロユキ)  
振込料はご負担お願い致します。(返金不可)

きりとり線

お名前	医院名	歯科医師	衛生士	歯科助手	技工士	金額	円
						金額	円
						金額	円
						金額	円
						金額	円
						金額	円
						合計金額	円
懇親会の参加	人					お支払いは懇親会場にて各自お願い致します。	

## 抄録

### 今、歯科衛生士として思うこと

#### ～その技と感性～

歯周治療において歯科衛生士は重要な役割をはたしている、とりわけ基本治療においてはその成否が衛生士の力量に左右されるといっても過言ではない程だとよく言われます。しかし実際にはどのように基本治療を行って良いかわからず戸惑っている衛生士も少なくないと聞きます。一人一人違う人生を歩んで来られた患者さんに対し歯科衛生士がどのように関わっていくのかはエビデンスだけでもテクニックだけでも乗り切れるものではないのではないかと感じています。

本講演では私の経験から、歯科衛生士として持つべきであろう『技と感性』について考えてみたいと思います。

#### <略歴>

貴島 佐和子先生

1984年 大阪歯科学院専門学校卒業 本多歯科医院勤務

2003年 医療法人皓隆会 南歯科医院勤務

2010年 日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士

2014年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校非常勤講師

5-D Japan DH コース 主任衛生士

## 抄録

### 包括的歯科治療における tissue management の戦略

歯周病が進行した口腔内には、支持骨の喪失や歯の欠損も見られることが多く、それに派生して歯列不正、咬合の異常がおこり、機能的、審美的な問題も抱えることが少なくない。このような状況においては歯周治療のみならずインプラントも含めた欠損補綴、矯正治療など包括的な治療によって機能性や審美性回復に努める必要がある。

とくに審美性の回復については、歯周病によって歯を喪失するケースにおいて、欠損部歯槽堤の骨量の不足と同時に、そこに隣接する周囲天然歯においても骨吸収が進行し、歯肉退縮に伴う歯根面露出や歯間乳頭の喪失による固形空隙の拡大など審美性を損なう問題を抱えていることが少なくない。このとき、健全な歯周組織を持つ歯列のような審美性を獲得することは困難な場合が多く、歯周組織の健全性を確保しながらも、審美性を獲得するためには、天然歯の保存、または天然歯質や歯髄の保存が犠牲となることも想定される。

術者はケースごとに患者の希望にも配慮しながら、審美性の獲得、天然歯の保存、天然歯質の保存というそれぞれの要素のなかでバランスを取り、個々の患者にとって最善と思われる治療のゴール設定を行うことが求められるものと考えている。

そして決定されたゴールに到達するためには、様々な状況の症例に対応した戦略を立案し、それに適応した **tissue management** が必要となる。今回はその **tissue management** の実際について症例をとおして解説を加えたい。

#### <略歴>

北島 一先生

1987年 広島大学歯学部卒業

1990年～ 北島歯科医院 開業

2008年 5-D Japan (石川、福西、船登、南先生とともに) 発足

日本臨床歯周病学会認定医

OJ(Osseointegration study club of Japan) 常任理事

AAP (American Academy of Periodontology) 会員